

## 少数台数のリコール届出の公表について（平成17年1月分）

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成17年1月は下記のとおり3件の届出がありましたので、公表します。

## 1．届出者：ヤマハ発動機株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
1月12日	1341	車名：ヤマハ 型式：BB-UA04J 通称名：X1TV50	7	平成16年4月20日～ 平成16年5月28日
不具合の部位等	制動装置において、ブレーキシューの加熱処理が不適切なため、ブレーキシューとライニングの接着が不十分なものがある。そのため、ブレーキ操作を繰り返すとライニングが剥がれ、制動力が低下するおそれがある。			
備考	本届出は、平成16年9月30日「届出番号1240」のリコール届出に、新たに対象車を追加するものである。			

## 2．届出者：住友ナコ マテリアル ハンドリング株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
1月18日	1340	車名：SN 型式：SB2G等 通称名：FB20PE等	47	平成13年7月16日～ 平成16年11月26日
不具合の部位等	前輪タイヤの側面とハブ（ブレーキドラム兼用）の隙間が不足しているため、走行中の荷重によりタイヤが変形すると、タイヤとハブが干渉するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、ブレーキ制動時に発生する熱によりタイヤが熱損傷（側面剥離）し、バーストするおそれがある。			

## 3．届出者：小松フォークリフト株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
1月31日	1348	車名：小松 型式：M209等 通称名：-	66	平成14年7月1日～ 平成16年5月28日
不具合の部位等	パワーステアリング用シリンダの右側ロッドに不適切な加工を行ったため、当該ロッドの強度が不足しており、かじ取り操作を繰り返すと、当該ロッドのピン穴部に亀裂が生じるものがある。そのため、そのまま使用を続けると、亀裂が進行して破損し、右後輪タイヤの操舵ができなくなるおそれがある。			
備考	本届出は、平成16年11月8日「届出番号1293」のリコール届出に、新たに対象車を追加するものである。			

[参考]

平成17年1月のリコール届出総件数		内 訳	
		対象台数100台以上	対象台数100台未満
国産車	5件	4件	1件
輸入車	4件	4件	0件
計	9件	8件	1件

対象台数の追加の届出については届出件数に含みません。

(問い合わせ先)

国土交通省自動車交通局技術安全部審査課  
リコール対策室 森田、久手  
電話 03-5253-8111 (代表) (内線42352・42353)